

政務活動報告書

会派名 無所属議員 成田 大介

年 月 日	令和 4 年 4 月 21 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	ヒロロ3階			
相手方 (会議名等)	自治体議会特別セミナー			
参加議員名	成田大介			
活動の概要	別紙のとおり。 ※会議・研修資料等があれば、添付してください。			
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	受講料	7,000 円	1	
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
	合計額	7,000 円		
備 考				

自治体議会特別セミナー 受講報告書

成田大介

日時：令和4年4月21日

場所：ヒロロ3階

<概要>

高沖秀宣氏に、二元代表制を軸に、議会と首長の理想的な関係性の講義をいただいた。

地方自治において、首長である市長の権限が1番強いと考えられているが、15年前に定められた「議会基本条例」においても二元代表制が注目されるようになったことを切り口に勧められた。

執行機関である市長に対して、議会は単なる承認機関ではなく、議事機関である、という考え方が役所、市民に浸透していくことが必要である。議論を尽くして、審査決定する意思決定機関としての役割を今の弘前市議会は果たされているのかという問いかけもあり、議会基本条例の制定や次なる検証の必要性についても話をされた。

よりよい地方政治を実現する議会にしていくため、議員一人ひとりが議員力を身につけ、議会として首長と対峙し、政策競争をし、議論の上で予算を決定し、実行することが理想である。

二元代表制の目的を実現するための具体例を、他都道府県の実例、高沖氏ご自身が市長側で市政に関わっていたときの実例を挙げながら、具体的な説明がなされた。

<所感>

地方自治の基本的なことから、応用篇まで、他市の例を挟みながらのセミナーであった。

二元代表制とは何か？市民との距離感等をどのように縮めていくか等、地方議員としての自覚や責任、向き合い方を学んだ。

改めて学ぶことで、知っているつもりだったことも再認識できたと感じた。少人数開催だったこともあり、講師との距離も近く、議員としての自覚と責任を再認識した。

学ぶことの大切さと、振り返りの必要性を強く感じた。

政務活動報告書

会 派 名 無所属議員 成 田 大 介

年 月 日	令和 4 年 5 月 25 日 ~ 令和 4 年 5 月 26 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	5月25日: はこだてみらい館、はこだてきつずぶらざ 5月26日: 函館市役所 5/25 弘前駅~新青森駅~新函館北斗駅~函館駅 (函館市1泊) 5/26 函館駅~新函館北斗駅~新青森駅~弘前駅			
相手方 (会議名等)	5/25 函館市 はこだてみらい館・はこだてきつずぶらざについて 5/26 函館市 中心市街地活性化事業について			
参加議員名	成田大介			
活動の概要	別紙のとおり ※会議・研修資料等があれば、添付してください。			
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	交通費・宿泊費	23,140 円	2	
	合計額	23,140 円		
備 考	(写真貼付等)			

令和4年度 会派「さくら未来」と無所属議員（成田大介）行政視察
～函館市 はこだてキッズプラザ・はこだてみらい館～

無所属議員 成田大介

（会派さくら未来 今泉昌一 竹内博之 樋川篤子）

<概要>

5月25（水） 現地視察

① 「はこだてキッズプラザ」は、「子育て世代活動支援プラザ整備事業」（実施主体函館市）として、実施されたものである。（実施期間平成26年～平成28年度）

H28・10・15にオープンしたキラリス函館4階の公共施設。小学生までが楽しめる大型のネット遊具などがあるプレイグラウンドや2歳未満児用のベビーパーク、授乳室・おむつ替え室、子育て相談室、託児所などを備えている。

7種類ほどの遊具のテーマや使い方などの説明を受けながら、実際に体験させていただいた。子供たちが全身を動かして楽しむことができる屋内施設である。子どもだけ、大人だけの入場は不可とされており、必ず保護者同伴での入場とすることで、子どもたちの安全性も確保されている。

総工費8.7億円（内国の補助金3.7億円 市5億円） 令和2年度利用者1万1千人 令和3年はコロナの影響で6千人に落ち込んだが、今後1万2千人を期待しているとのこと。

② 「はこだてみらい館」は、「はこだておもしろ館整備事業」（実施主体函館市）として実施。（実施期間平成26年度～平成28年度）

H28.10.15にオープンしたキラリス函館3階の公共施設で、施設名称は「はこだてみらい館」。縦2.4m横14.4mの巨大な高精細LEDディスプレイやモノづくりができるラボなどを備え、「オドロクチカラ」をテーマに様々な体験ができるほか、数多くのワークショップを展開している。キッズプラザ同様、館長より、1つ1つの説明を受けながら、フロア内を一巡し、実際に見て、体験させていただいた。キッズプラザとは違い、子どもだけ、大人だけの入場も可能。（入場料：子ども100円・大人300円時間制限なし）

駅前の景色が見える、飲食可能で座席の間隔を十分に確保したワーキングスペースには、オンライン会議対応の仕切りのあるスペースも設置されている。大型のディスプレイに映し出される函館市内の四季の映像は迫力満点であり、まるでその場にいるような感覚になる。360度スクリーンも臨場感があり、五稜郭タワーからの眺めの四季の映像や、縄文遺跡で発掘されたヒスイや石包丁などを、コントローラーを使って実際に発掘体験したり、いろんな角度や大きさで見ることができる、科学技術を駆使した学びの教材としての役割も大きい。「驚く力」を引き出す、というコンセプトに偽りなく、どれも魅力的で飽きることなく、様々な最先端技術を体験できる空間となっている。これだけのものを、一度に体験でき

るにもかかわらず、入場料が100円、300円というのは、市が運営する施設ならではの。総工費10.7億円（内国の補助金4.1億円 市6.6億円）

※①②の施設は、名称「キラリス函館」のビルの3階4階フロアにある。「キラリス函館」は「函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業」として、実施された。地下1階、地上16階建てのビルは、5～16階がマンションで、総工費は56億円（内国の補助金56億円 市6.5億円）

5月26日（木） 函館市役所内

函館市中心市街地活性化基本計画の推進状況について、担当者から説明を受け、それに対する質疑応答の時間を頂戴した。

全体として人口減少問題を解消するために、北海道新幹線開業にむけて、平成27年、28年度に集中して多くの計画事業が実施されている。

「市民生活と歴史・文化、観光が融合した回遊性の高いまちづくり」を基本コンセプトとし、3つの指標を掲げてそれぞれ数値目標を達成した。

指標1 中心市街地の年間観光入込客数 現況(H22)3,534千人→3,783千人(H29)

指標2 中心市街地の歩行者通行量 現況(H22)40,416千人→45,551千人(H29)

指標3 路面電車の乗降人員数 現況(H23)9,929人→10,903人(H29)

上記3項目について、当初の目標値はすべて達成されており、事業自体は成功と言えるが、コロナ禍の影響で、平成30年以降の数値が減少するなどの課題もある。

<所感>

1、はこだてみらい館・はこだてキッズプラザについて（北海道函館市）

にぎわい創出と市民の交流を図ることを目的としている。最先端の様々な技術を活用し、見る・聴く・触ることで、遊びながら子供たちの体験と学びにつながっている施設だと感じた。料金も定額で大人、小中学生300円。未就学児は無料とのこともあり、平日にもかかわらず来館者は比較的多いと感じた。IT技術を使った体感型のアトラクションや映像は、大手企業の技術のもと、本格的に取り組んでいると感じ、子どもだけではなく、年代問わずに楽しみながら学べる施設である。

年間の利用者数もコロナ禍の余韻は残っているが、令和3年度では約50,000人弱の利用者が訪れたようだ。情報発信の上では、VRを活用した紹介やSNSにて毎日の様子を発信している。教育機関や市民団体との連携した体験型のイベントも行っており、子供たちにとっても学びの場としての活用力は高いと感じた。

職員の皆様のモチベーションの高さ、明るさ、こういったものが、市民や子どもたちへの人気の1つではないかと感じた。当市においても、様々な子ども向けの施設はあるが、ブラッシュアップの必要性を感じた。

2、中心市街地活性化事業について（北海道函館市）

「市民生活と歴史、文化、観光が融合した回遊性の高いまちづくり」を基本コンセプトとし、賑わいある集客拠点の創出。新たな交流を産む都市空間の創出。魅力ある生活空間の創出を基本方針としている。さらに細部にわたり区分分けをし、その1つとして、前記している、はこだてみらい館もオープンにこぎつけている。

函館駅前・大門町、本町・五稜郭等、観光地を区域分けして、入り込み客数の目標設定をしている。地元市民にも平均3000人から、観光・交通・目的等のアンケートを実施し、来街頻度や、来街手段等の調査を行っている。場所によっては、2-3ヶ月に1度・ほとんど行かない。といった市民が半数以上に上った地域もあり、商工会とも連携をし、祭りやイベントの企画、商業施設の整備等を行ってきたようである。

結果としては、中心市街地へ繰り出す市民の数は微増したようだ。

しかし、コロナ禍の影響もあり、外国人観光客も大幅な減少をしている。特に台湾からのインバウンド客が大半を占めていたようだ。歴史ある建物や特性を生かしたにぎわい創出を行っていると感じた。







函館市議会事務局議事調査課

主任主事

佐々木 真
さ さ き まこと

函館市議会事務局



次長 宮田 至

〒040-8666 函館市東雲町4番13号
TEL 0138-21-3761 FAX 0138-27-4185
Mail: [REDACTED]

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL(0138)21-3752 FAX(0138)27-4185
E-mail: [REDACTED]

空から見た春の五稜郭公園



はこだてキッズプラザ
Kids Plaza Hakodate

館長

玉井 志津香
[REDACTED]

〒040-0063
函館市若松町20番1号 キラリス函館4F
はこだてキッズプラザ
【TEL】(0138)26-7000 【FAX】(0138)26-7010

函館市経済部
商業振興課

主査 小坂 未希子

〒040-8666 函館市東雲町4番13号
電話 (0138) 21-3306
FAX (0138) 27-0460
E-mail: [REDACTED]

内藤 秀道

Naitou Shudou

はこだてみらい館
館長

〒040-0063
北海道函館市若松町20-1
キラリス函館3階

TEL 0138-26-6000
FAX 0138-26-7011

E-mail: [REDACTED]